



自分の才能に自信をもつ女性はわずか 28.1% 女性の可能性は女の子の頃の自信の強さと挑戦が鍵に -女の子の可能性に関する調査-

アメリカのアパレルブランドGap(ギャップジャパン株式会社 東京都渋谷区)は、本国アメリカで絶大な人気を誇るトークショー司会者エレン・デジェネレスが持つブランド「ED」(エド)とコラボレーションし、世界中の女の子たちにそのメッセージを伝えることを目的としたグローバルキャンペーン「GapKids x ED キャンペーン」を展開しています。それを記念し、全国の10~40代の女性309名に対し、「女の子の可能性に関する調査」をインターネットを通じて実施いたしました。

Gapは、すべての女の子には無限の可能性があり、自分自身に自信と誇りを持つことでその可能性は大きく広がっていくことができると考えております。これから世の中で活躍する女の子たちに、様々な事に情熱を抱くきっかけを与え、自分の才能を信じてその情熱を追い求めてほしいという想いで、少女の頃と現在の自分をどのように評価しているのかを調査しました。

その結果、多くの日本人女性が、少女時代に感じていた自分の才能に対する自信を失い、過去にチャレンジしなかった事に対して後悔していることが明らかになりました。
本調査に関する詳細は、下記よりご確認ください。

About the Survey-Chapters

Chapter 1: 自分の可能性や才能について

自分の才能に自信が持てない女性が7割。自信を失った理由は“他人との比較”

- 自分の才能に自信を持っている女性はわずか 28.1%。自己評価に厳しい日本人女性
- 自分の才能に自信が持てない理由は「外見」と「他人との比較」
- 才能に対する周りからの評価に非常に自信があると考えている人はわずか 2.9%

Chapter 2: 女の子の頃の才能について

女の子の頃に持っていた自分の才能に対する自信、多くの女性が失っている傾向に

- 女の子の頃には可能性があると感じている人は 82.8%
- 自分自身の才能に対する評価、大人になると失う傾向に
- 81.9%の女性がもっと才能があったら挑戦したかった事があると回答
- 遠慮したことで、チャンスを逃した事があると感じている人は 6.9%
- やりたかった事を諦めてしまった理由No.1は「自分に対する自信のなさ」54.5%
- 親(家族)に反対されて諦めた人の 72.7%が、後悔しておりチャレンジしたいと回答

Chapter 3: 理想の自分と現実のギャップ

現在の自分に対する満足度は、自分の才能を信じた行動が鍵に

- 今は理想の自分になれていると回答した人、わずか 9.7%
- 女の子の頃にやりたい事を諦めた人の 50.3%が、理想の自分になれていないと回答
- やりたい事にチャレンジしなかった事を後悔している女性は 75.4%
- 一方で、可能性を広げる為に行動に移している人はわずか 39.8%
- 毎日を楽しく過ごしている人は、可能性を広げる為に何か行動に移している傾向に

Chapter 1: 自分の可能性や才能について

自分の才能に自信が持てない女性が7割。自信を失った理由は「他人との比較」

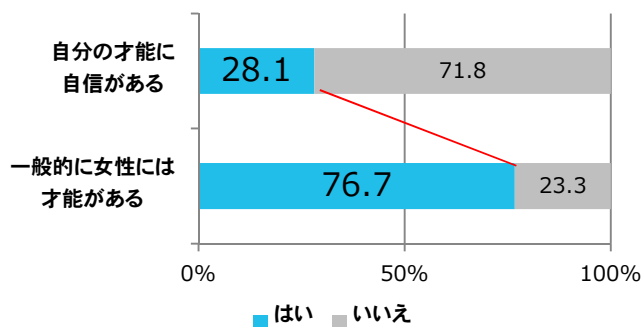
女性を対象に、自分自身が持つ才能や可能性について調査しました。

その結果、76.7%が女性には才能があると考えているが、自分に才能があると感じているのは28.1%に留まり、他人と自分の可能性に対する考え方のギャップがみられる結果となりました。

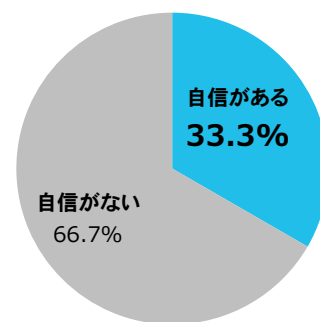
➤ 自分の才能に自信を持っている女性はわずか28.1%。自己評価に厳しい日本人女性。

一般的な女性の才能に対しては、76.7%が評価しているにもかかわらず、自分自身の才能に対して自信を持っている女性はわずか28.1%。また、一般的な意味での「女性」の才能をポジティブに捉えている女性でも、自分自身の才能に対しては、66.7%が自信が無いと回答しています。日本人女性は自分自身の才能に対する評価が厳しいようです。

Q1. あなたは自分の才能に自信がありますか？
また、一般的に「女性」には才能があると思いますか？
(n=309/SA/全体)



Q2. あなたは自分の才能に自信がありますか？
(n=237/SA/Q1で一般的に女性には才能があると回答した人)



➤ 自分の才能に自信が持てない理由は「外見」と「他人との比較」

➤ 才能に対する周りからの評価に「非常に自信がある」女性は、わずか2.9%

才能に自信が持てない理由を聞いたところ、「外見」や「他人との比較」など、外からの評価が上位に挙がりました。

また、自分自身の才能に対する周囲からの評価に自信を持っている女性は31.1%に留まり、多くの女性が自分自身の才能を活かしきれていないと感じていることが明らかになりました。

Q3. 自分の才能に対して自信が持てなくなったきっかけは何ですか？ (n=222/MA/Q1で自信の才能に自信が無いと回答した人)

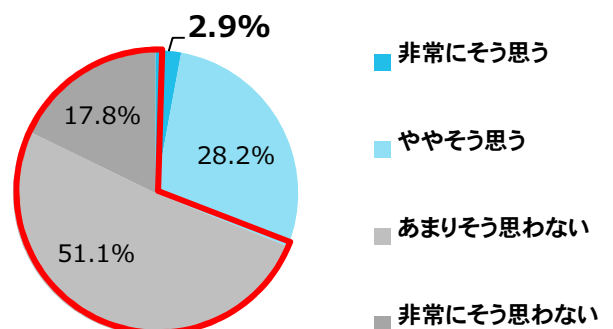
自分より才能がある他人と比べてしまうから

64.9%

外見に自信がないから

52.3%

Q4. あなたは周りの人から才能があると思われると思いますか？ (n=309/SA/全員)



Q5. あなたは自分の持っている才能の何パーセントを活かしていると思いますか？ (n=309/FA/全員)

活かしていると思う才能の割合…平均 **37.8%**

Chapter 2:少女時代の才能について

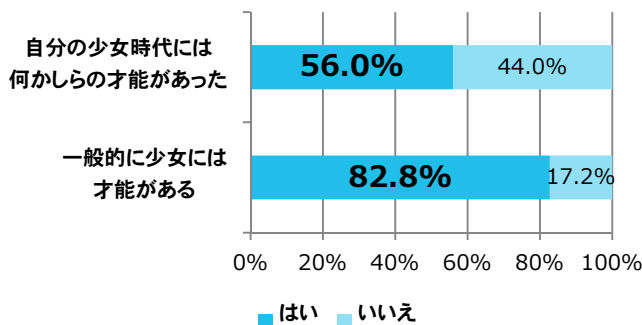
少女時代に持っていた才能に対する自信、多くの女性が失う傾向に

次に、少女時代の才能について聞きました。その結果、82.2%の女性が女の子の才能に可能性を感じている事が分かりました。一方で、81.9%の女性が「自分にもっと才能があったらやりたい事に挑戦したかった」と後悔しており、半数以上がその理由に「自分に對する自信のなさ」を挙げた結果となりました。

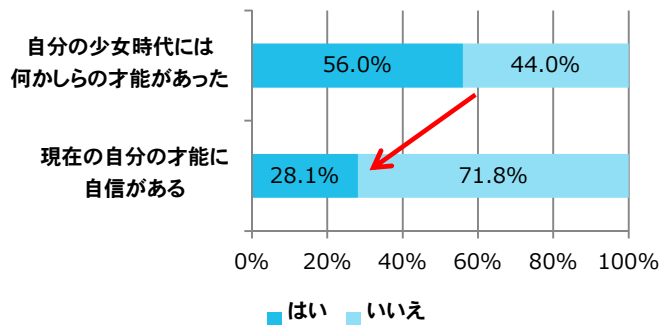
- 女の子の頃には才能があると感じている人は 82.8%
- 自分自身の才能に対する評価、大人になると失う傾向に。

82.8%女性が、女の子には才能があると感じている一方で、44.0%の女性が、自分自身の少女時代には自信が持てないと回答しています。また、現在の自分の才能に対する自信と比較すると、56.0%が少女時代には才能があったと感じているのに対して、現在の自分の才能に自信があると回答した人はわずか 28.1%。少女時代に才能を感じていた人の約半数が、現在の自分の才能に自信が持てないと感じているようです。

Q6. あなたは女の子の頃に才能があったと思いますか？
また、一般的に「女の子」には才能があると思いますか？
(n=309/SA/全体)



Q7. あなたは女の子の頃に才能があったと思いますか？
あなたは現在の自分の才能に自信がありますか？
(n=309/SA/全体)



- 81.9%の女性がもっと才能があったら挑戦したかった事があると回答
- 遠慮したことで、チャンスを逃した事があると感じている人は 68.9%

過去の経験について聞いたところ、58.6%の女性が少女時代にやりたかった事を諦めた経験を持っており、81.9%がもっと才能があれば挑戦したかった事があると回答しました。多くの女性が、才能に対する自信の無さが原因でやりたかった事を諦めた経験もっているようです。

また、68.9%が才能に自信が持てず、遠慮してしまったことでチャンスを逃した事があると感じており、才能に対する自信の無さが多くの日本人女性の行動を留まらせてしまっているのかもしれない。

Q8. 以下のそれぞれについて当てはまるものをお答えください。
(n=309/SA/全体)

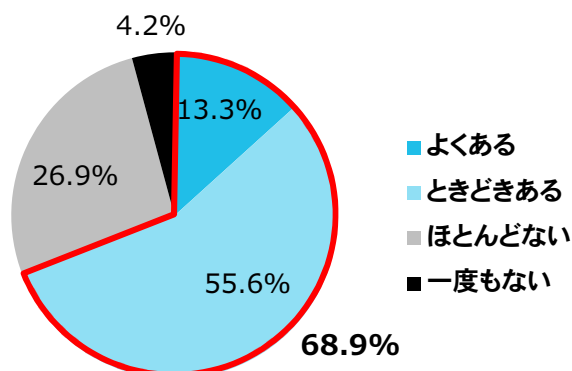
少女時代にやりたかった事を諦めた事がある

58.6
%

もっと才能があったら挑戦したかったことがある

81.9
%

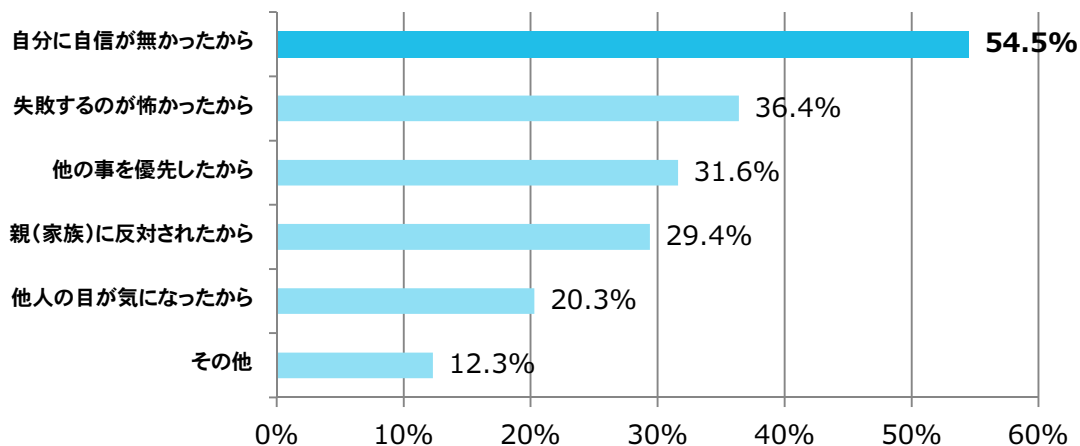
Q9. 自分が才能がないと感じ、遠慮した事でチャンスを逃したと感じた事がありますか。
(n=309/SA/全体)



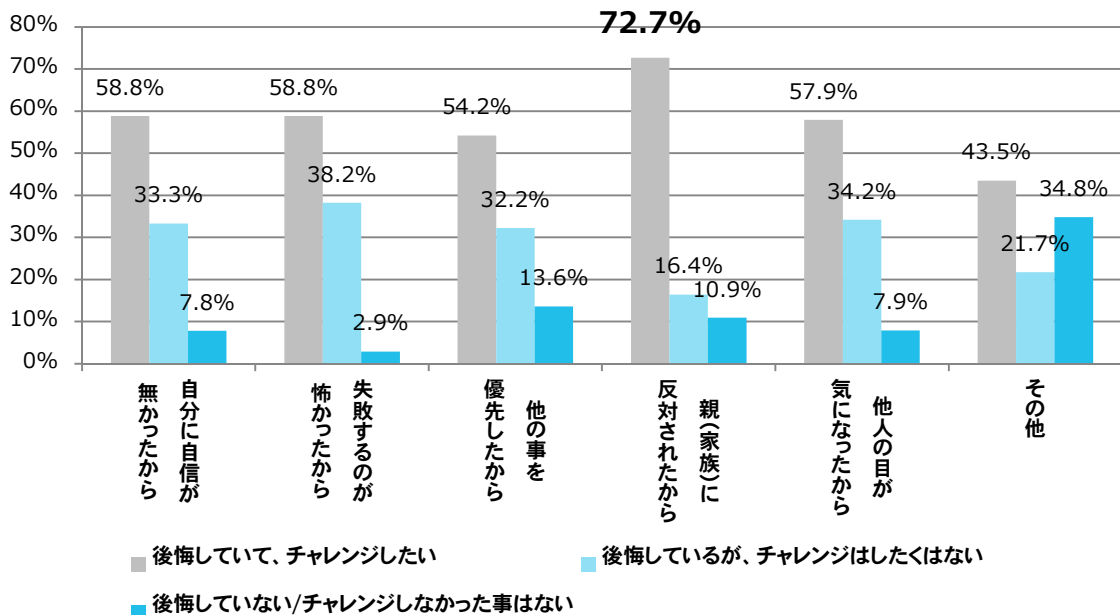
- やりたかった事を諦めてしまった理由No.1は「自分に対する自信のなさ」54.5%
- 親(家族)に反対されて諦めた人の72.7%が、後悔しておりチャレンジしたいと回答

次に、やりたい事を諦めてしまった理由を聞きました。他人の目や、周囲の人による反対など、外部の要因ではなく、自分に対する自信が理由で、54.6%の女性がやりたい事を諦めているという事が分かりました。また、親(家族)の反対によりやりたい事を諦めた人の72.7%が、それについて後悔しており再度チャレンジしたいと考えています。自分に対して自信が持てなかったり、周囲の意見により挑戦する事を諦めてしまった人は、後悔している人が多いと言えます。

Q10. 過去にやりたかった事を諦めた理由は何ですか?
(n=187/MA/やりたかった事を諦めた事があると回答した人)



Q11. 過去にやりたかった事を諦めた理由は何ですか?
(n=187/MA/やりたかった事を諦めた事があると回答した人)



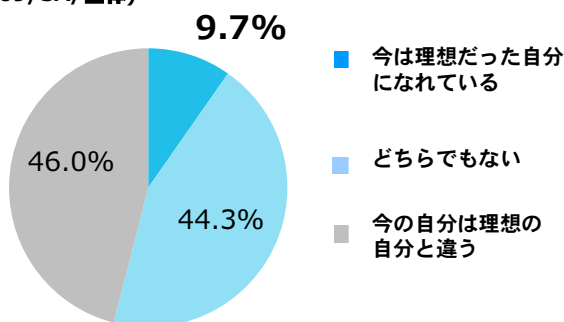
Chapter 3:理想の自分と現実のギャップ

現在の自分に対する満足度は、自分の才能を信じた行動が鍵に

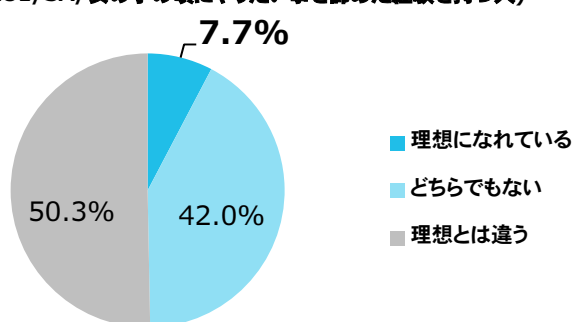
最後に、現在の自分に対する評価と理想の自分について聞きました。現在、理想の姿になれていると感じている人はわずか 9.7% となり、多くの日本人女性が現在の自分に満足していないという事が分かる結果となりました。また、75.1%が過去にチャレンジしなかった事で後悔している一方で、可能性を広げる為に行動に移している人は半数以下となりました。行動をしないことでチャンスを逃した事に後悔しながらも、多くの女性が行動に移せていないようです。

- 今は理想の自分になれていると回答した人、わずか 9.7%
 - 女の子の頃にやりたい事を諦めた人の 50.3%が、理想の自分になれていないと回答
- 多くの女性が、今の自分を理想の姿だと感じていないという事が分かる結果となりました。

Q12. 今、理想だった自分になれていますか？
(n=309/SA/全体)



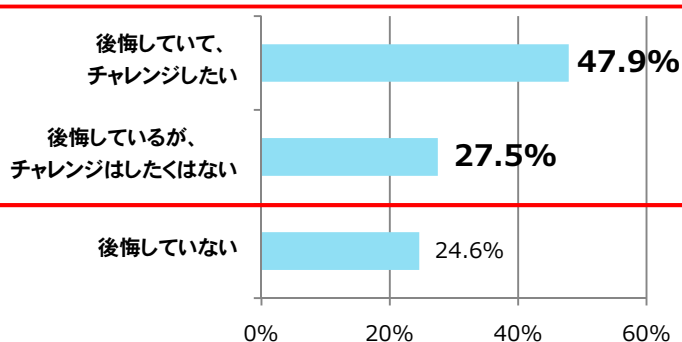
Q13. 今、理想だった自分になれていますか？
(n=181/SA/女の子の頃にやりたい事を諦めた経験を持つ人)



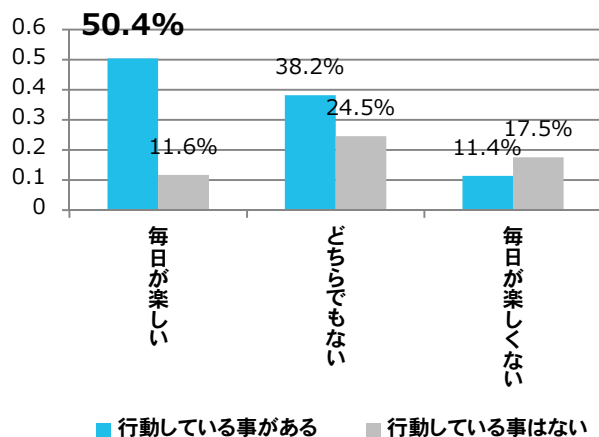
- やりたい事にチャレンジしなかった事を後悔している女性は 75.4%
- 一方で、可能性を広げる為に行動に移している人はわずか 39.8%
- 毎日を楽しんでいる人は、可能性を広げる為に何か行動に移している傾向に

やりたい事にチャレンジしなかった事を後悔している女性が多い一方で、可能性を広げる為に行動出来ている女性は少ないようです。毎日を楽しんでいると回答している人の半数以上は、可能性を広げる為の行動をとっていることから、自分自身の才能に自信を持って、挑戦を続けることは重要だと言えるでしょう。

Q14. 今までやりたい事にチャレンジしなかった事を後悔していますか？過去にもどしたらチャレンジしますか？
(n=309/SA/全体)



Q15. あなたは、毎日楽しいですか？また、自分の可能性を広げる為に行動に移していることがありますか？(n=309/SA/全体)



【調査概要】

- 調査タイトル:女の子の可能性に関する調査
- 調査対象:20~40代の女性 309名
- 調査日 :2015年7月29日(水)
- ※「少女時代」「女の子の頃」の定義 : 12歳以下

キャンペーン概要



“すべての女の子には無限の可能性があり、自分自身に自信と誇りを持つことでその可能性は大きく広げることができる”

世界中の女の子たちにこのメッセージを伝えることを目的に、本国アメリカで絶大な人気を誇るトークショー司会者であるエレン・デジェネレスとパートナーシップを組み、彼女の持つライフスタイルブランドである「ED」とのコラボレーションコレクションを12歳以下の女の子向けに、8月18日(火)より全国のGapKids取扱い店および公式オンラインストアにて展開いたします。

今回開催する日本でのキャンペーンローンチイベントでは「女の子が持つ可能性について」をテーマに、教育や女性などそれぞれの立場のゲストが、10代の少女時代の過ごし方の重要性やこれからの時代を生きる女の子に求められることなどについて考えます。